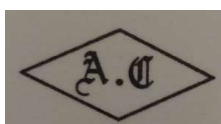




株式会社 秋山組

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年6月1日～ 2024 年5月31日)



発行日 2024年10月5日

環境経営方針

<環境経営理念>

当社は創業以来、土木建設業を通して地元社会への発展に寄与できるよう歩んで参りました。
これからはますます地球環境に配慮した施工方法で環境への負荷を最小限に、事業を最大限にできるよう努めます。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 建設事業に伴う環境負荷の低減に努めます。
 - (1) CO2排出量（電力・ガソリン・軽油）の削減・・・（※）
 - (2) 産業廃棄物、一般廃棄物の削減・・・（※）
 - (3) 水使用量の削減
- 2 . 建設事業を通じて環境改善に努めます。
 - ・問題発生を未然に抑える取組をする・・・（※）
- 3 . 関係する環境法規等及び地元との約束を遵守します。
- 4 . 本方針を全従業員、協力会社に周知させ、社外へも公開します。
- 5 . 環境経営システムの継続的改善を図ります。

（※）は重点取組項目

制定日：2018年6月1日

改定日：2020年9月7日

代表取締役社長 秋山洋暁

□組織の概要

更新日：2022年8月9日

(1) 名称及び代表者名

株式会社 秋山組
代表取締役社長 秋山 洋暁

(2) 所在地

本 社 兵庫県川西市小花2丁目20番13号
倉 庫 兵庫県川西市矢間東町3

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 秋山 泰昭 常務取締役 TEL：072-759-2021
担当者 秋山 泰昭 常務取締役 TEL：072-759-2021

(4) 事業内容

土木建設業

(5) 事業の規模

売上高 180 百万円

	本 社	倉 庫	合計
従業員 名	9 名	0 名	9 名
延べ床面積 m ²	160 m ²	1800 m ²	1960 m ²

(6) 建設現場等の概要(2023／6 ～ 2024／5)

元請工事 9件
下請工事 0件

(7) 事業年度

6 月 1 日 ～ 5 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社 秋山組
事業活動：土木建設業
対象事業所：本 社 、 倉 庫

□事業の紹介

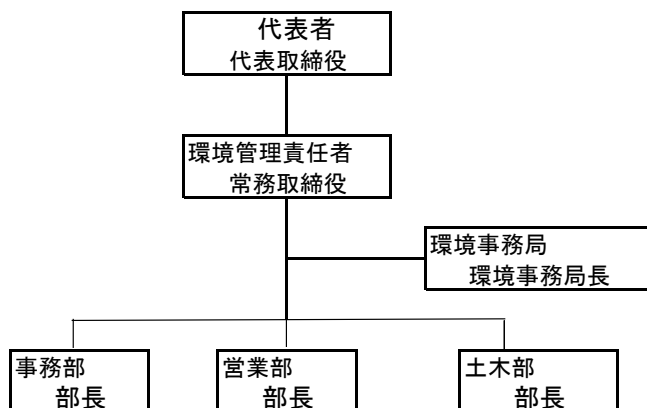
当社は昭和34年の創業以来一貫して土木建築総合請負業として地元 川西市を中心に道路工事、治山工事、橋梁工事等、公共の社会インフラ整備に携わってきました。近年では宅地造成など新たな生活の場となる工事も手掛け地域社会のお役に立てるよう日々邁進しています。

主な資格者数

一級土木施工管理技士：5名
二級土木施工管理技士：3名
二級建設機械施工技士：2名

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2020年9月4日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境方針を策定し、従業員に周知させる ・環境経営レポートの承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認 ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2019年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	62,587	33,873	40,314
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	0.360	0.318	0.313
産業廃棄物排出量	トン	181	193	477
水使用量	m ³	304	280	144

※二酸化炭素排出係数 0.311 kg-CO₂/kWh 関西電力の2020年度調整後排出係数

※産業廃棄物排出量はConガラ、アスガラを含む

□環境経営目標及びその実績

								※3 基準年度(2019年度実績) に対する目標		
No.	環境目標	単位	基準年度		2023年			2022年度	2023年度	2024年度
			2019年度実績		目標	実績	達成率	目標	目標	目標
1	二酸化炭素 排出量削減 ※2	事務所電力の 削減	削減率	%				-2.0	-2.5	-3.0
			13,317	kWh	12,984	16,316	79.58%	13,051	12,984	12,917
			4,142	kg-CO ₂	4,038	5,074	79.58%	4,059	4,038	4,017
		自動車燃料の 削減（ガソリ ン）	削減率	%				-2.0	-2.5	-3.0
			5,449	ℓ	5,313	4,639	114.53%	5,340	5,313	5,285
			12,641	kg-CO ₂	12,325	10,762	114.53%	12,388	12,325	12,262
		自動車燃料の 削減（軽油）	削減率	%				-2.0	-2.5	-3.0
			16,761	ℓ	16,342	14,996	108.98%	16,426	16,342	16,259
			43,244	kg-CO ₂	42,163	38,689	108.98%	42,380	42,163	41,947
		二酸化炭素排 出量総合計 （灯油・都市 ガス使用によ る二酸化炭素 排出量含む）	62,587	kg-CO ₂	58,527	54,525	107.34%	-	-	-
2	廃棄物排出量 削減と再資源 化促進	廃棄物の削減 （一般ゴミ）	削減率	%				-1.6	-1.7	-1.8
			0.360	t	0.353	0.267	132.36%	0.354	0.353	0.353
		Con殻・As殻を 除く 産業廃棄物 の 再資源化率	削減率	%						
			74.62%	%	50.0%	※1 14.13%	28.27%	50.0%	50.0%	50.0%
3	水使用量	節水	削減率	%				-1.6	-1.7	-1.8
			304	m ³	299	244	122.47%	299.1	298.8	298.5
4	問題発生を未 然に抑える取 組をする	現場毎に環境 配慮事項の現 状の確認を行 い点数化する	0	%	80	100	125%	85%	90%	90%

※1 再資源化率は1.45 t (金属くず) ÷ 10.26 t (混合廃棄物、木くず、金属くず) = 14.13%で算出

(Conガラ、アスガラを除く)

※2 都市ガス、LPGは使用量が少ないため、目標に設定していない。

※3 2020年度以降の目標は2019年度実績を基準年度とする。

※4 化学物質を使用していないため、目標に設定していない。

□環境経営計画の取組結果とその評価

No.	環境目標 (環境方針との関連)	環境活動計画の概要	目標達成状況	2023年度の評価
				次年度の取組内容
1	事務所電力の削減 (CO2排出量削減)	・不使用時の消灯 ・エアコンの設定温度を守る ・パソコン、プリンターの 節電モード使用 担当:事務部長	目標: 12,984 kWh 実績: 16,316 kWh 目標: 4,038 kg-CO ₂ 実績: 5,074 kg-CO ₂ 目標達成率 79.58% (×)	猛暑で電力需要がひっ迫する夏の負債を年度後半でかなり取り戻したが、年度では未達だった。 事務所のLED化完了。 今後も継続して小まめな節電の意識を上げていく。
2	自動車燃料の削減 (ガソリン)	・エコドライブを心がける ①アイドリングストップを行う ②タイヤの空気圧を定期的に確認する ③加減速の少ない運転をする 担当:土木、営業部長	目標: 5,313 ℓ 実績: 4,639 ℓ 目標: 12,325 kg-CO ₂ 実績: 10,762 kg-CO ₂ 目標達成率 114.53% (○)	現場への通勤距離の関係で大きく上回った。 エコドライブの推進 相乗りでの燃費削減 効率のいい走行計画の実施
3	自動車燃料の削減 (軽油)	・エコドライブを心がける ①アイドリングストップを行う ②タイヤの空気圧を定期的に確認する ③加減速の少ない運転をする ④重機の稼働効率化 担当:土木部長	目標: 16,342 ℓ 実績: 14,996 ℓ 目標: 42,163 kg-CO ₂ 実績: 38,689 kg-CO ₂ 目標達成率 108.98% (○)	現場への通勤距離、重機の稼働率の関係で大きく上回った。 エコドライブの推進 相乗りでの燃費削減 効率のいい走行計画の実施
4	廃棄物の削減 (一般ゴミ)	・使用済み紙、カレンダー等の裏紙の活用 ・使用済み封筒の再利用 担当:事務部長	目標: 0.35 t 実績: 0.27 t 目標達成率 132.36% (○)	一般ごみはほぼ削減しきっているの、なかなか難しい。 廃品回収を利用するなど、リサイクル率の向上
5	廃棄物の削減 (産業廃棄物) Co、Asを除く	・建設現場での分別の徹底 ・無駄な廃棄物を出さない意識を持つ 担当:土木部長	目標: 50.00% 実績: 14.13% 目標達成率 28.27% (×)	スクラップ処分が少なかったの、目標を下回った。 スクラップ処分に頼らない目標設定が必要である。
6	総排水量の削減	・手洗い、洗い物において日常的に節水を行う 担当:事務部長	目標: 299 ℓ 実績: 244 ℓ 目標達成率 122.47% (○)	日常の取組結果が表れた。 節水型の蛇口導入など更なる節水の推進を図る。
7	問題発生を未然に抑える取組をする	・現場毎に環境配慮事項の現状の確認を行う 担当:土木、営業部長 ※2	目標: 80% 実績: 100% 目標達成率 125% (○)	2020年2月から始めた取り組みで、継続して評価していく必要がある。 数値以外の環境への取組として大切にしていきたい。

※二酸化炭素排出係数 0.311 kg-CO₂/kWh 関西電力の2017年度調整後排出係数

※2 2020年度1月から「実施した環境配慮事項の現状確認表」をもとに現場毎に環境配慮事項の現状の確認を行っています。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	収集運搬・処分業者との適切な契約	遵守
	マニフェスト伝票の管理（A、B2、D、E）	遵守
	廃棄物置場の表示と保管基準の遵守	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出 敷地境界線での規制基準（騒音）85dBの遵守 （振動）75dBの遵守	遵守
振動規制法		遵守
消防法（危険物）	消火器の設置	遵守
建設工事に係る資材の再資源化に関する法律	対象建設工事の届出	遵守
	再資源化の完了報告	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調機 3ヶ月以内に1回の自主点検記録	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、関係当局からの違反等の指摘はありません。また、訴訟也没有ありません。

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。

□外部からの環境上の苦情・要請等

なし

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月5日

5年連続でCO2削減目標を達成できた。
 とくにガソリン、軽油で大きく目標を達成しているものの、
 通勤距離や重機の稼働率で大きく数値が変動するため、こまめなアイドリングス
 トップなどの効果があったかは前年に引き続き測定しづらい結果となった。
 電気については夏場のエアコン稼働時間が長いため目標を未達となった。
 これまでは基準年度から目標を定めていたが、現場稼働によって大きく変動するた
 め、日々の取り組みを見える化して評価できる仕組みに取り組んでいきたい。

環境経営方針
 環境経営目標・計画
 実施体制

☒ 変更なし
 ☒ 変更なし
 ☒ 変更なし

☐ 変更あり
 ☐ 変更あり
 ☐ 変更あり

代表取締役 秋山 洋暁